会員のひろば

持続化補助金を活用し、協働ロボットの魅力を「伝わるチラシ」に！

株式会社ＧＩＦＴ

◆会長：戸熊　邦夫
◆住所：邑楽郡大泉町
　　中央二丁目３４番８号
◆TEL：0276-61-3785
◆FAX：0276-61-3794
◆営業時間：9:00 ～ 18:00
◆定休日：土曜・日曜日・祝日

◆ＨＰ：
https://gift39.co.jp

人材総合サービス・産業用ロボットのレンタル事業を手がける株式会社 GIFT では製造業における人手不足や生産性向上の課題に対し、「協働ロボット派遣」という新しい選択肢を提案している。しかし、ロボット導入は「高そう」「難しそう」「自社には合わない」といった先入観を持たれやすく、サービスの魅力が十分に伝わりにくいという課題があった。そこで同社は、小規模事業者持続化補助金を活用し、協働ロボットの価値を分かりやすく伝えるための営業用チラシ制作に取り組んだ。本事業では、従来の文字中心の説明ではなく、導入後の現場を具体的にイメージできる構成を重視。ライン部分や守秘義務に該当するアーム部分を 3D CG で表現することで、「見て理解できる」販促ツールを目指した。チラシでは、協働ロボットが単純作業を担うことで、人が本来注力すべき検品や改善業務に時間を使える点を強調。費用対効果や省スペース性といった実務的なメリットだけでなく、「作業者の負担軽減」や「現場の雰囲気改善」といった目に見えにくい効果も伝えている。補助金を活用したことで、制作コストの負担を抑えながら質の高い販促物を整備でき、展示会や営業現場で自信をもって活用できるツールが完成した。今回の取り組みは、協働ロボットの導入ハードルを下げ、製造業の現場に新たな気づきを届ける第一歩となっている。

福田塗装工業所が挑む、新たな塗装の可能性！！

有限会社　福田塗装工業所

◆代表取締役：福田　敏充
◆住所：館林市近藤町 372-9
◆TEL：0276-74-1909
◆FAX：0276-74-1934
◆営業時間：8:00 ～ 17:00
◆定休日：土曜・日曜日

自動車部品を中心に、プラスチック塗装を手がけてきた有限会社福田塗装工業所。高い品質と安定した技術力で評価を積み重ねてきた同社は、いま“次の一手”となる新たなチャレンジに取り組んでいる。そのきっかけは、異業種との交流だった。家具製作を行う富士室内工芸との対話の中で、木材塗装への挑戦も一度は検討された。しかし、木は種類や含水率による個体差が大きく、仕上がりの再現性や品質管理の観点から、現時点での本格対応は見送る判断に至った。そこで福田塗装が次に選んだのが、「ウレタン素材への直接塗装」という新たな試みだ。ウレタンは柔軟性や衝撃吸収性に優れる一方、塗膜の密着や耐久性の確保が難しい素材でもある。従来の工程では対応が難しいとされてきた領域に、同社はこれまで培ってきた自動車部品塗装の知見を応用し、実験的な検証を開始した。下地処理や塗料選定、塗膜の追従性など、一つひとつ条件を検証しながら進めるこの取り組みは、まさに“福田塗装だからこそできる挑戦”と言える。既存技術に甘んじるのではなく、応用と進化によって新たな可能性を切り拓く姿勢がそこにはある。福田社長は「失敗も含めてすべてが経験。技術を磨き続けることで、次の仕事、次の人材育成につながる」と語る。変化の激しい製造業の現場において、挑戦を止めない姿勢こそが、同社の最大の強みなのかもしれない。